

環境整備活動始めました。

本年2月より「環境整備活動」を取り入れました。環境整備とは、「仕事をやり易くする環境を整えて、備える」事です。まずは「形」から取り組んでいます。いつか自然と「心」がついてくるようになるそうで、社内全体で取り組んでいます。



■朝の清掃活動



■各業務の見える化



■感謝カード



■社員同士の語ろう会

「月刊廃棄物」2015年5月号に掲載されました！

「月刊廃棄物」新コーナー『西日本一般廃棄物事業～許可業者の挑戦～』『月刊廃棄物』の新コーナー『西日本一般廃棄物事業～許可業者の挑戦～』の第一回目に私たちの取り組みが取り上げられ、盛りだくさん紹介して頂きました。私たちが「片づけコンシェルジュ」を始動し、リユース・リサイクル・適正処分のワンストップサービスを提案していること。カンボジアにリユースショップ店を自社で開設することで、国内での不用品回収、遺品整理などの場面で不用品である家具・家電・日用雑貨などのカンボジアへ輸出版売できる品目の買取を実施し、処分費を軽減し利用者の負担を減らしていること。そして、アジアに店舗を持つことで不用品の適正処理の担保をつくり、不用品の国際循環を進め日本の「もったいない」を東南アジアへとつなげていると掲載されました。



「月刊廃棄物」より抜粋

Jグループ STAFF 紹介 (*^_^*) 地域密着ライフサポーター♪



名前：竹内 健司 (タケウチ ケンジ)
所属：(株)ジェイブリッジ
勤続年数：1年6ヶ月
生年月日：昭和51年8月23日
業務内容：営業

天然キャラを發揮して社内に笑いを届けております。これから夏本番で更に暑くなりますが、愛車(自転車)で安心、丁寧、信頼、笑顔をお客様の元へ届けてまいります。



編集後記



暑さ厳しき折から、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、今月の特集「ライフキャップ運動にご協力ください♪」につきまして、参加企業様が年々増えてきております。当社でもこの活動に取り組んでおり、2週間で一袋ぐらいのペースで満タンになります。この暑さで飲料の購入が増加、比例してペットボトルの廃棄量が増えます。集めて頂いたキャップは確実に協会へ提出しますので、ご安心してこのボランティアにご協力ください。私事ですが、大阪府産業廃棄物協会の組織広報委員に今期も任命していただきました。始まりは協会主催の「なにわサンパイ塾」の参加者でした。それから平成25年に委員に選んで頂き、今回の塾のディスカッションで進行役をする事になりました。今後とも産廃業の従事者として、最新情報のご提供などできる様に努めて参りますので、宜しくお願い致します。



平成27年7月15日 吉本 聖美

～通信 report～

城東衛生グループ

〒538-0041 大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号

<http://www.jgroup-osaka.com>

平成27年7月 第27号

有限会社城東衛生
☎0120-889-530

株式会社ジェイ・ポート
☎0120-445-138

株式会社ジェイブリッジ
☎0120-530-398

ご挨拶

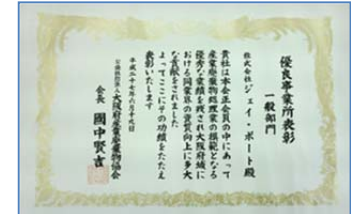


盛夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて大阪市では、天然資源の消費が抑制され環境への負荷ができる限り低減された「持続可能な循環型都市」の構築を目指し、3R(ごみの発生抑制・再使用・再生利用)の取組を積極的に推進しております。その結果、ごみ処理量は平成3年度の約217万トンピークに年々減少し、平成22年度には115万と半減になりました。そして平成27年度は100万トン以下を目指す目標の設定のごみ減量施策を進めています。弊社はそもそも「廃棄物を収集運搬する商売」ですので、廃棄物が無くなるという事は死活問題になります。しかしながら「廃棄物はない方がいい」というのは、社会的には正しい事です。流れに逆行するようなことは考えず、いかに3R、特に2R(リユース・リサイクル)を進めるかをこの数年、全社的に考えております。昨年からはスタートした海外リユース事業も少しながら軌道にのりつつあり、リサイクルについても新たな試みを今秋より行う予定です。また詳細が明らかになり次第、皆さま方へお伝えするつもりでございます。最後になりましたが、「持続可能な社会」の構築をめざし、社員一同、心を一つにして邁進する所存でございます。皆様方には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。



「優良事業所 一般部門」表彰いただきました！

平成27年6月19日、公益社団法人大阪府産業廃棄物協会の定時総会で表彰式が行われました。当社(株)ジェイ・ポートは大阪府産業廃棄物協会の会員登録業者、約300社の中から「平成27年度 優良事業所 一般部門」で表彰していただきました。これもひとえに皆様のご愛顧の賜物と心より感謝致しております。今後とも法令遵守に努め、更なるご信頼をいただけるよう全社員一丸となり取り組んで参ります。



ジェイ・ポートの「facebook」投稿しています♪
2,000人以上が観覧「いいね！」募集中♪

今の特集「ライフキャップ運動にご協力ください♪」

大阪市清掃連合共同組合の組合創立 40 周年記念事業として「大阪の街をよくする募金ライフキャップ運動」と題し、ペットボトルのキャップを集め、そこから得た収益を環境・教育・文化・医療などに役立てる事を考案してから5年が経ちました。当社もこの活動に参加しており、既に学校やお客様にご協力を申し入れ、回収を実施しています。参加費は無料となっておりますので、ご希望のお客様は弊社までご連絡をお願い致します。

“ほんの小さな思いやり、そんな気持ちを届けたい”
Heart of Osaka 大阪の街をよくする基金 ライフキャップ運動



- ★回収したボトルキャップから得た収益金を『大阪の街をよくする基金』として役立てます。
- ★専用の通い袋（回収容器）を用意しています。通い袋はリサイクル運用します。
- ★募金活用の報告は「大阪市一般廃棄物適正処理協会」ライフキャップのHPで随時掲載しています。

【ライフキャップのゆくえ】



排出事業者様より集めていただいたライフキャップは、「大阪市一般廃棄物適正処理委員会」が指定するヤードへ弊社が搬入します。ライフキャップは売却され、その収益が募金となります。そこから先、再生工場ではキャップは溶かされ成型し、製品になります。



通い袋は再利用する為に返却され、ライフキャップは、フレコン（大きな袋）に入れ替えられます。

ひとつずつ選別しながら粉碎機に投入していきます。質の良いプラスチックの成型品を作る為には不純物が混入するとできません。また、金属片などが投入されると機械の故障にもつながる為、手間を掛けて投入するには意味があります。

その後、ライフキャップは溶かされ、成型されたプラスチック製の杭となります。この杭は、東日本大震災の津波で被害を受けた通信ケーブルの埋没作業の再建に何万本も使用されています。ケーブルを挟みこむ特殊な構造になっており、強い設計に生まれ変わりました。皆さまがコツコツと集めていただいた「ライフキャップ」、日々作業の中で回収する小さな廃棄物は、このように利用されているのです。

(株)タフコン（プラスチック製造メーカー）
大阪市一般廃棄物適正処理委員会HP抜粋

【募金活用のご報告】

■第一回：大阪市西成区内の公立小学校の生徒約 3,400 人に「鉛筆」を進呈。

大阪市の未来を担う子供達の為に活用しようと実行委員会で考案、「新学期を迎えた小学生達に鉛筆を送ろう」と決定されました。ライフキャップの売却益で、3,960 本の鉛筆を購入する事が出来ました。大阪市西成区内の公立小学校 14 校の生徒約 3,400 人に「鉛筆」を進呈する事ができました。



■第二回：大阪市立総合医療センターに「車いす」を 8 台贈呈。

平成 25 年 6 月 25 日、大阪市立総合医療センターにて車いす 8 台を贈呈する寄贈式が行われました。「この頂いた車いすを使い市民の医療環境をよりよくし、また医療の発展と健康促進を目指していきたい。」と病院長よりお言葉をいただきました。



■第三回：「ライフキャップ運動ふれあいコンサート」を開催。

大阪市音楽団のご協力を元にコンサートを開催しました。大阪府下の様々な支援学校、ファミリーホームの児童 47 人を招待し、ピアノの音楽を生で聞いていただきました。



基金活用方法 アイデア募集中！

CHECK! 詳しくはwebで

みなさまのご協力のできた収益金を、大阪の街をよくするためにどのように活用すればいいかのアイデアを募集しています。『大阪市一般社団法人適正処理協会 URL:http://lifecap.jp』ホームページより投稿してください。

「ライフキャップ運動」参加者募集中！



【参加方法】参加費は無料です。

- ① 参加希望のお客様は、弊社までご連絡ください。
- ② 専用の通い袋（回収容器）を、無料で貸し出します。
- ③ お客様の収集日に合わせて、回収いたします。（※回収は、弊社のお客様に限らせて頂きます。）

【キャップ提供者様へお願い】

- ・キャップ以外の物は入れないで下さい。
- ・できるだけ水気は切って下さい。
- ・シール等が付いている場合は剥がして下さい。



【参加者ご感想】



取材日：平成27年6月19日

当社は、鶴見区内の各郵便局から出てくる廃棄物の回収をしております。大阪鶴見郵便局の局長、郷津潤様より「飲み干したペットボトルを捨てる時にキャップをそのまま通い袋に入れるだけ、それだけでお役に立てるのであれば喜んで協力します。」と、お声をいただきました。ご協力して頂き、心より感謝しております。今後とも参加者を募り、活用のご報告ができるよう続けてまいりますので、宜しくお願い致します。

環境トピック「プラスチックの基礎知識」

出典：(一社)プラスチック循環利用協会

日本における廃プラスチック有効利用率は 82%に達し、年を追うごとに着実に上昇しています。いま世界規模での資源の確保と表裏関係にある廃棄物への対応が早急な課題となっています。有限の資源については可能な限りその廃棄物のリサイクルを図っていかねばいけません。今やプラスチックは私たちの生活に欠かすことの出来ない素材となっていますが、プラスチックの廃棄物を資源としてリサイクルすることが出来れば、資材確保・廃棄物処理の両面で課題解決に貢献することができます。このため、従前から使用済プラスチックのリサイクル技術の開発は進められ、今ではプラスチック製品や化学工業原料の素材として再利用するマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルなどの手法が広く普及しています。

■廃プラスチックの総排出量・有効利用量・有効利用率の推移 (単位：万 t)

年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
廃プラ総排出量	1016	990	1001	1013	1006	1005	994	998	912	945	952	929	940
有効利用量	マテリアルリサイクル量	147	152	164	181	185	204	213	200	217	212	204	203
	ケミカルリサイクル量	21	25	33	30	29	28	29	32	42	36	38	30
	サーマルリサイクル量	345	337	344	364	368	457	449	494	456	465	496	535
	合計	513	514	541	575	582	689	691	733	688	724	744	767
有効利用率	50%	52%	54%	57%	58%	69%	70%	73%	75%	77%	78%	80%	82%

お持込のお客様へ「お盆期間中の営業時間のお知らせ」

8月13日(木) } 午後5時まで営業
14日(金) }
15日(土) }
16日(日) 定休日
17日(月) より平常通り営業いたします。



(お盆期間中も休まず営業しております。平常時間：午前7時～午後8時まで)